

議事

1. 開会挨拶（学校長 福原）

【委員の方へお礼の挨拶】

毎年ある委員会へのご参加ありがとうございます。

多くの変更事項がある中、貴重なご意見をお願いいたします。

2. 評価委員のご紹介並びに学校側出席者の紹介（事務局次長 今井）

※2021年度委員会名簿を基に、オンライン上にてお一人ずつ自己紹介

3. 本委員会の主旨説明（評議員 小川）

利害関係者の方々から、自己点検・評価をした内容を、委員の皆様からもう一度評価を受けて、提言を頂戴しそれを学校の運営に活かしていくことが趣旨となっている。

東京滋慶学園は頂いたご意見を毎年の事業計画に反映している。即時・中期・長期的な視点で計画をたてていく。

今回も、様々なご意見を頂戴し、次年度の背策に反映させていただきます。

4. 2020年度の自己点検・自己評価 評価内容の説明（事務局長 関口）

昨年度の自己点検評価を、委員の皆様から2次評価をいただくため、改めて説明させて頂きます。それぞれの評価を期日までにご提出お願いいたします。

・自己点検、自己評価(1次評価) 65項目の小項目に対して評価:5点満点評価

・学校関係者評価(2次評価者) 全11の大項目に対して評価:3点満点評価

評価点とともに、各委員からのご意見をご記入いただく。

※委員からの平均点数とご意見、議事録を本校HPにて情報公開をしていく。

【自己点検・自己評価の内容に関する報告と解説】

※以下、特段の解説を行った箇所のみ記載

1) 教育理念・目的・育成人材像

他分野にわたる79校の専門学校を運営している学園。

創業時から、3つの教育理念「実学教育」「人間教育」「国際教育」を建学の理念としている。

2) 学校運営

年度ごとに事業計画を定め、運営方針を掲げている。組織目的から収支予算(5か年)の計画をたてている。近年では教育・財務基盤も安定してきており、計画の重要性を認識している。

運営組織

滋慶学園グループ 東京滋慶学園 学園グループや法人毎に理事会や運営会議などの意思決定機関を用い 運用している。学校内でも運営会議を定め開催。

4) 教育成果

就職内定率 100%

国家試験合格率 95.2%

5) 学生支援

学生相談センター、医療・健康のサポート(慶生会クリニック)、卒業生サポート(同窓会活動)

8) 学校の財務(財務情報の公開)

年度毎の事業報告書・財産目録・財務諸表を、決算理事会が終了次第、学校の情報公開ページにて公開している。長期で予算計画を行い、安定した運用が出来ている。

定員充足率 : 74.1%

9) 法令等の遵守(学校情報の公開)

文科省・厚労省の設置基準を満たし認められる。

職業実践専門課程としても認定されている。学校関係者評価委員会の開催、運営状態の情報公開をしている。

6-1. 質疑応答・意見交換

(森 委員)

- ・ 歯科衛生士 定員充足率 100%を超えている。歯科技工士 定員充足率が落ち込んでいるが、分析はされているか?

→(関口) 技工士は、職業認知の差が出ている。知名度が低い中、18歳人口の減少・既卒や社会人の学びなおし(夜間部)が減っている。対策としては、デザインが好きな方やスポーツ業界に興味のある方に向けても認知拡大をしていく。また、留学生が日本の高い技術を学びたいというニーズがあるので、そこもポイントとなっている。逆に歯科衛生士は高校生への認知度も高く、人気の職業である。

(森 委員)

- ・ 留学生の日本語に関する対策などは行なっているか?

→(富野) 日本語能力試験 N2 がある前提で歯科技工の技術を学びにきてはいるが、専門用語が高いハードルとなっている。補講などに加え、日本語学校より外部講師を招き、基本的な日本語から専門用語の対策教育をしている。

(水林 委員)

- ・ 離職者はどのくらいいるのか? また、就職を希望しない人の理由はなにか?

→(西村) 1年後の離職に関してアンケートをとっている。

2019年3月卒業で、離職者は技工5名、衛生2名となっている(同業種転職含まず)。

就職を希望しない学生は、さらに進学をしたり、結婚・出産などが主な理由。

(中島 委員)

- ・留学生の学費は日本人と同じか？国からの補助金をうけるなどあるのか？
→(関口)出席率優秀者は学校独自の奨励金制度あり。それ以外は私費留学となっており、母国からの支援が多い。入国管理局も留学時の指標として、日本での経費支弁ができる方が望ましいとしている。

5. 2021 年度の重点目標と説明 (事務局次長 今井)

- ・学校の沿革
新東京歯科技工士学校 1980 年開校
歯科技工士科 I 部(昼間・2 年制)入学定員:90 名 総定員 180 名
歯科技工士科 II 部(夜間・3 年制)入学定員:35 名 総定員 105 名
歯科技術予備教育科(昼間・1 年制)入学定員:35 名
- ・2021 年度入学者 134 人
- ・2020 年度国家試験合格率 94.1% (全国平均:95.8%)

滋慶学園グループは、全国に 78 校。

ミッション:職業人教育を通して社会に貢献する。

教育方針: 専門教育とキャリア教育(専門知識はもちろんのこと、その職種に必要な考え方や態度を身につける人間教育)

産官学連携・協同を軸においたチーム歯科医療教育を通じて、多様化する学生一人ひとりの興味関心や必要感に根ざした学びを促進する (“個別最適化”)

※ことによって、歯科専門人材の育成を図り、社会に貢献する

運営方針①: 入学定員の充足

- ・デジタルネイティブ世代の価値に合わせた学科の強みと広報システムを構築する

運営方針②: カリキュラムイノベーション

- ・スマホキャンパスの活用を深化させ、学生の価値に合わせた授業カリキュラム・シラバスと学習システムを構築する

運営方針③: 個人と組織の成長

- ・強みを活かした役割分担とスピーディーなコミュニケーションが実践できる組織づくり

実行方針

「ものづくりが好き」という顧客の価値に応える学科の教育価値(強み)を構築し入学定員の充足を図る。

重点事項①: 入学定員の充足について

広報=入学前教育

オンライン広報の推進 DX 広報システムの確立

- ・LINE を軸にしたイベント動員 (LINE de 進路)
- ・YouTube によりライブ配信説明会

配信オープンキャンパス 来校する前に学校の雰囲気わかる。

遠方の方にもアプローチができています。

(オンラインオープンキャンパス動画紹介)

動画視聴者からは、実際に「雰囲気が良い・先生と仲がよさそう」という意見を頂いている。参加者が知りたいことを聞き、動画を作成している。

生の雰囲気を在校生から発信してもらうことを価値としている。

重点事項②：カリキュラムイノベーション（学部長：富野）

定員 160名 入学者 134名

(歯科技工士科Ⅰ部 99/90 歯科技工士科Ⅱ部 17/35 歯科技術予備教育科 18/35)

・歯科技工士科Ⅱ部(夜間)

11年間定員充足ができていない学科となっている。

「働きながら学ぶ」ではなく、手に職をつけたいというジョブチェンジ層に向けた学科を作っていく。

→歯科技工士科午後部開校（昼間部 3年制）2022年4月開校予定

パソコンスキルを活かして医療の国家資格を取得

技工業界の急速なデジタル化に対応していく為のカリキュラムを組んでいる。

業界の皆様にもご意見を頂きたいと思っている。（動画紹介）

・歯科技術予備教育科

留学生や通信制の高校生などに見られる登校日数が少ない環境だった方など1年間かけて通学習慣や歯科技術の基礎を身につけ、歯科技工士科および歯科衛生士科（国家資格養成課程）へ進学ができるような新しいカリキュラムとなっている。

(今井)

・A0 エントリー状況について

今年度のA0エントリーは向上している。

・スマホキャンパスについて

コロナ禍によりマッチしている学び方となっている。スマホキャンパスによる復習ができ、国家試験対策として非常に活用されている。

学生と学校はLINEで質問・相談ができるようにもなっている。そこからビジネスマナーの指導などにも繋げている。いつでもどこでもキャンパスになる学校として今以上に制度をあげていく。

重点事項③：留学生教育サポート強化

2021年度留学生在籍数：64名（2020年度60名）

昨年度、歯科技術予備教育科に所属していた留学生が18名、歯科技工士科Ⅰ部へ進学をしている。

留学生に対する専門用語教育や日本で暮らすマナーやルールをしっかりと学べるよう取り組んでいく。

6-2. 質疑応答・意見交換

(森 委員)

・スマホキャンパスの活用大変参考になる。通信制高校の受け入れをしていくことにより、進路変更や退学、出席率の低下などの心配があるのではないかと？

→(今井)通信制からの進学者は通学習慣が無く、集団を苦手とすることが多い。

それが退学につながりやすくなっているが、興味関心と合った教育により通学・学び・就職まで達成できている事例もある。ひとりひとりの興味関心と合った教育を目指している。

(森 委員)

・技工も衛生も人と関わる仕事なので、スマホでのコミュニケーションのみでサポートしきれぬのか？

→(今井)座学はオンライン、実技は対面としている。

インターンシップや企業見学(技工)、臨床実習(衛生)など、コミュニケーション力を高めていくような工夫を取り入れている。

(中島 委員)

・技工デジタル推進について大変関心した。デジタルの扱いが非常に増えている。

この分野は伸びると思うので、ぜひ開拓していただきたい。

・月曜日の扱いが斬新で驚いた。実習が重要な学科なので、座学はスマホでというのは目の付け所が良い。

(水林 委員)

・実習内容的に国家試験の為にやっているように感じた。もっと臨床に適したものは学校でできないのか？

→(今井)カリキュラムの都合もあり、国家試験合格は第1となる。

専任教員より国家試験と臨床とのテクニックの違いは伝えていっている。

(畑山 委員)

技工士学校の活動・教育・設備・カリキュラムが充実している。卒業生も即戦力として活躍してくれている。これからも変わらず活動をして頂きたい。

7. 閉会挨拶 (三觜副学校長)

3つの見学の理念やミッションの他に、4つの信頼というものがあります。

卒業生・保護者・高等学校・業界の信頼が得られる学校運営をめざしております。

コロナ禍により社会情勢に応じて本校も変わっていかなくてははいけない。また変わらず継続すべきこともあると認識しております。本日の貴重なご意見を踏まえて更なる信頼が得られる学校運営を進めて参りたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

以上

評価内容及び委員会での意見を踏まえた改善方策について

今回の学校関係者評価結果ならびに委員会での意見については、理事会や学内の運営会議などの意思決定機関にフィードバックされ、翌年度における重点課題への反映及び、具体的な取り組みに落とし込んでいく。

とりわけ、2021年度の学校関係者評価並びに委員の意見を踏まえ、昨今のコロナ禍に象徴されるような、感染状況により学習方法を柔軟に変更することが求められた際に、業界の求める知識・技術をはじめ、本来 インターンシップなどの学外実習で身につくような現場対応力やコミュニケーション力についても学内実習で習得できるような、多様性のある学習方法を開発・実践することで、より質の高い教育への改善を図る。
